

揺れやすさマップ

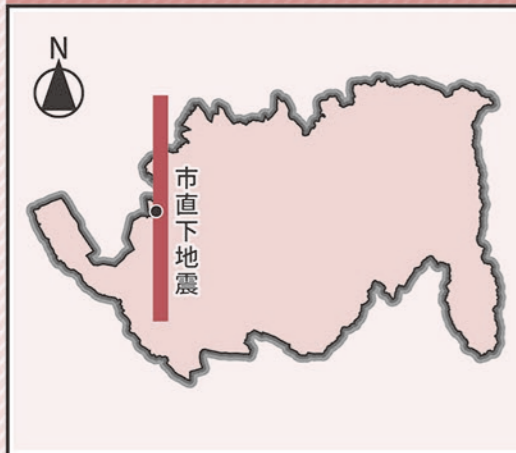
- 地図の凡例
- 市役所・支所 公民館
 - 駅
 - 国道
 - - - 鉄道
 - 主要地方道
 - ⋯ 市境
 - 避難路となり得る主な道路
 - 県道

地震による被害を最小限にするためには、震度と被害の程度を予想して、予防対策をすることが重要です。右下図の「揺れやすさマップ」は、大田原市直下を震源とする地震（マグニチュード6.9）が発生した場合に、地域の地盤の状況を考えて、地表の揺れやすさを震度として評価し、一辺が約50mの四角形の区域を基本単位として表現したものです。

なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。



想定震源



名称	市直下地震
走向（度）	0.0
傾斜（度）	90.0
長さ（km）	15.00
幅（km）	7.50
上端深さ（km）	5.00
マグニチュード	6.9

震度階級

6強
6弱
5強
5弱

